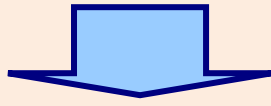


校訓「自主・協同・創造」

学校教育目標

「主体的に行動し、気づく目・感じる心を持ちながら、夢の実現に向かう生徒の育成」

「自主」：主体的に行動する生徒の育成 「協同」：気づく目・感じる心を持つ生徒の育成 「創造」：夢の実現に向かう生徒の育成



学力向上のための目標

- ・校内テストや授業時の評価を検証軸に「自分の考えの根拠を明確にして表現する」という重点課題について、国・県・市の学力検査結果から改善率10%達成(47.4%から57.4%)を目指す。



学力向上のための具体的取組（本校の重点取組事項）

- （1）研究課題の分析・検証
 1. R・V・P・D・C・A マネジメントサイクルの重視
- （2）校訓とアクティブラーニングを重ねた授業改善の推進
- 「本校の授業づくりのものさし」「授業改善メソッド」を基にした各教科での「めあて」と「まとめ」の明示や、「書く活動」を仕組んだ授業の実践
- （3）教職員の授業力向上とスキルアップ
 - ① ○ 全職員による研究・公開授業の実施や校内研修の充実
- （4）個に応じた指導、特別支援教育の実施
- 特別に支援が必要な生徒に対する指導の充実を図るための支援計画、指導計画の作成と更新
- 個に応じた指導の充実を図るために全職員による指導体制、学習環境の工夫
- （5）学力向上に有効な教育課程の編成
 - ① ○ スキルタイム、県センター活用教材、自主活動等、諸活動の帯時間の工夫
 - ② ○ AIドリルを有効に活用した知識、技能の習得と個別最適な学びの工夫
 - ③ ○ 全教科が作成した「自分の考えの根拠を明確に表現する」に特化した自主学習の手引きを活用した家庭学習のサポート
- （6）GIGA スクール構想の実現に向けた「個別最適な学び」と「協同的な学び」の推進
 - ① ○ タブレット端末を活用した授業の実践
 - ② ○ クラウド型教材を利用した基礎学力の定着と個に応じた学習の展開

校訓「自主・協同・創造」に沿った授業改善
～ 授業づくりのものさし ～

【自主】

自ら求めて学ぶ生徒の育成

- ・本単元（題材）、本時のねらいを明確にする。
- ・学習の見通しをもたせる。
- ・主体的な学習の展開を生む導入、各過程での的確な教示、助言を行う。
- ・個に応じた指導を適切に行う。
- ・本時の評価を確実に行之、次なる到達、改善に向かわせる。
- ・授業と家庭学習を連動させて、知識・技能を確実に習得させる。

【協同】

協同し高め合う生徒の育成

- ・互いの意見、考えを大切にする支持的風土を築く。
- ・対話により互いの考え、意見を交流し解決に向かわせる。
- ・建設的な話し合い、相手を説得する討論等、様々な話し合い活動を展開させる。
- ・自身の得意分野を教え合う学習で各自の特長を伸ばす。
- ・課題の設定、情報の収集・分析、まとめ、表現などを級友と協働して活動させる。

【創造】

思考し判断し表現し目標の達成に向かう生徒の育成

- ・自分の考えや意見の根拠を明らかにして表現させる。
- ・友達の考えや情報（人・物・こと）に出会い、新たなものを創造させる。
- ・身に付けた知識・技能を様々な場面で活用させる。
- ・言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める。
- ・ICT 機器を活用して創造させ、思考力、判断力、表現力を高める。